

オリーブの会通信

2014年6月4日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0043 高松市今新町4番地20.
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



(5/25 ひきこもりサポーター養成研修会場 撮影Iさん)

第2回 ひきこもりサポーター養成研修のお知らせ

日 時	2014年6月15日(日) 13:30~16:15 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30 ~ 15:00 講義 「長期化する多様なひきこもりの理解と対応」 NPO 教育研究所理事長・教育コンサルタント 講師 牟田 武生氏 15:15 ~ 16:15 ディスカッション 「当事者、家族の話を聞く」 香川大学大学院教育学研究科教授 コーディネーター 竹森 元彦氏 コメンテーター 牟田 武生氏 当事者(ピアサポーター)・家族
参 加 費	無 料

梅雨も近づき蒸し暑さを感じる今日この頃ですが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。さて、2014(平成26)年度、オリーブの会は、大きな節目を迎えております。とりわけ、本年度は、香川県から委託を受けて「ひきこもりサポーター養成研修」が5月から始まるとともに、助成を受けての「ひきこもり者の回復のための居場所運営事

業」も既に4月から実施致しております。会員の皆様は、それぞれの立場で連携を深めながら、各事業等が前に進められますようご理解とご協力をよろしくお願い致します。

今月は、「ひきこもりサポーター養成研修（第1回）」の概略と「父親の集い」の概要をお知らせします。

第1回「ひきこもりサポーター養成研修」の概略

(松本副理事長 司会進行)

- と き 2014（平成26）年5月25日（日）13:00～14:50
- ところ 香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- 参加者 93名（当日総勢）
(福祉関係専門家、行政機関担当職員、保健所、社会福祉協議会、民生委員、大学生、家族、元当事者等)

○ あいさつ

「オリーブの会」(川井富枝 理事長)

今回の自治体の実施主体である「ひきこもりサポーター養成研修」は、四国で初めての試みです。参加申し込みについてのお問い合わせは130名余の方々から頂きましたが、会場の都合もあり94名とさせて頂きました。参加者は、福祉等の専門家から一般のひきこもりに関心のある方まで幅広い方々です。この研修では専門家の方も初心に戻り、知識だけでなく心で理解する、また当事者の気持ちが以前よりもわかるようになったと思えるよう特に学んで頂ければと願っています。

本当にこのように多くの方々が、ひきこもり支援に関心をお寄せ下さり、感謝申し上げます。

「香川県障害福祉課」(木原幹雄 課長補佐)

ひきこもりに特化した支援対策は平成21年度から国で始まり、本県では平成23年度に「ひきこもり地域支援センター」を設置した。その後、国では「ひきこもりサポーター養成研修」という新たな取り組みが始まり、本県でも平成26年度からこの事業に取り組むこととしたもので、これまでの専門家による相談業務だけでなく、幅広くきめ細かく支援をすることを目的としている。

当事者の心を理解することは簡単なことではなく、人間関係の構築等に時間をかけて支援に取り組むことが必要と思っている。

今回は、親の会として実績を積み重ねてこられたNPO法人KHJオリーブの会に研修をお願いすることとした。また、当事者、家族が抱えている問題について一人でも多くの方に理解して頂き、支援の輪を広げて頂きたいと考えております。

今回の研修は、期間も長く、内容もかなり濃いものとなっているので、最後まで頑張ってもらって頂きサポーターとして活動されることを期待しています。

- ご来賓紹介 (香川県議会議員 都築 信行氏)
 - スケジュール(7回分)の説明 川井理事長
 - 「ひきこもり対策の変遷とひきこもりサポーター養成研修事業」の概要
(香川県障害福祉課 精神保健・人材育成グループ 植田氏) 資料あり
- ・ 国における「ひきこもり対策」の変遷

現在、引きこもり状態にある子どものいる世帯は全国で約 26 万世帯（出展：平成 18 年度「こころの健康についての疫学調査に関する研究」（厚生労働科学研究）平成 21 年度からは、ひきこもりに特化した第 1 次相談窓口としての機能を有する「ひきこもり地域支援センター」を整備（平成 25 年 12 月現在、全国 46 か所設置）

- ・ ひきこもりに関する課題として、ひきこもりの長期化・高年齢化、きめ細かな対応（元当事者によるピアサポートや訪問）が十分でないのではないか等が挙げられる。
- ・ 平成 25 年度からは、「ひきこもりサポーター＝ひきこもり家族などの当事者（ピアサポート）を含む」養成・派遣事業に対する補助制度が開始されることとなりました。

○「香川県におけるひきこもり支援の取り組み」{ひきこもり地域支援センターを中心に}

（香川県精神保健福祉センター 細谷氏）資料あり

- ・ ひきこもりの定義、支援を提供できる機関、香川県における支援件数
 - ・ 保健所の活動～ひきこもり担当者を配置し、ひきこもり地域支援センターと連携、ひきこもりに関する相談・訪問、家族教室、関係者向け研修実施
 - ・ ひきこもり地域支援センター～平成 23 年 6 月 20 日精神保健福祉センターに開設、今年度はソーシャルワーカー 2 名、臨床心理士 1 名、計 3 名で相談支援（来所相談～予約制）、当事者・家族への支援、居場所支援（平成 25 年 10 月から「当事者の集い」）、研修会の開催、関係機関との連携、普及啓発（ホームページ、リーフレット作成）を実施している。
 - ・ 相談内容（主なもの）
 - {本人より} 「現在の状況を何とかしたい」「孤独が辛い、仲間と交流したい」
 - {家族から} 「他者と交流するにはどうしたらいいか」「家庭内暴力の対応」「今の状況（ひきこもり）をどう考えたらいいか」
- 等々あり、それぞれに応じた対応を一緒に考え、関係機関と協力し、出来ることを探していくこととしている。

○「親の会の活動と効果」

（オリーブの会 川井理事長）資料あり

- ・ オリーブの会は、ひきこもりの子を持つ親の会で、当事者の自立支援に向けて活動している。
- ・ 2002（平成 14）年 6 月に任意団体「KHJ 香川県親の会」として発足、2008（平成 20）年 法人格を取得し、現在に至っている。
- ・ 活動内容 (1)「月例会の開催」(2)「居場所活動」(3)「訪問活動」(4)「家族の学習交流会」(5)「家族・当事者に対する相談活動」等
- ・ 親の高齢化： 母親 平均 61.8 歳 父親 平均 67.1 歳
- ・ 子の高年齢化： 本人の年齢 平均 33.1 歳
- ・ 効果 (1)「月例会（家族支援）では」①「仲間（ピア）同志で心から共感できる」②「日々の学びからピアサポートができる力が培われる」(2)「居場所（本人支援）では」①「当事者本人のなかでリーダーシップがとれるようになる、ピアサポートもできるようになってくる、そしてスタッフ化していく」
当事者の中でスタッフ化が図られ、一緒に考え、交流できる感覚を覚えていっている。

(3)「訪問(家族+本人支援)では」①「心に寄り添った支援ができる」

また「サポート力を養成研修でレベルアップさせることができる」

「体験談などを聞くことで安堵感を得られ、変化への希望を持つことができる」等。

・ 課題 「長期化を防ぐためには家族で抱え込まない」

「ニーズにあったきめ細かな支援の継続」

「家族も諦めない」

参考 ・KHJ「引きこもり」の実態に関する調査報告書⑩

・ひきこもりピアサポーター養成派遣に関する調査報告書

第143回月例会「父親の集い」の概要 (泉理事 司会進行)

今月は月例会への参加者が多数であったため、3グループに分かれて話し合いが行われました。その中の1グループで、「父親の集い」についての概要は次のとおりです。

○ 参加者 12名(元当事者、当事者の父親、支援者等で多様な考えをお持ちの男性の方々)

○ 自己紹介 最初に各自が自己紹介を行った。

○ テーマ 「父親の存在について」他

・ 元当事者の意見

「父親は子どもに〇〇でなければならないという考えを押し付けがちだ」「先回りの発言が多い」「子どもの話を聴いてくれない」「自分は親とは違うということを理解してもらえない」「自分は家庭ではいつも危機意識を持っていた」等々

・ 父親の意見

「〇〇でなければとか押し付けはしたつもりはない」「何とかしてやりたいという思い」等々

・ これから

「親は変わらない」という見方もあるので、元当事者からは、「当事者が集まり何か起業することを視野に考えている」との意見も出された。

その場合、父親としてはその変化を見守っていくものとする。

以上、限られた時間ではあったが、お互いの立場、考えの違いを乗り越えて貴重な意見交換が行われ、有意義な父親の集いでした。

以上

【年会費支払いのお願い】

年会費は、今回の案内状に同封の「払込票」により、お支払い(払込)頂きますようお願いいたします。

なお、4月、5月例会に参加された皆様はじめ、既に年会費を早期にお支払い下さった方々にはお礼を申し上げます。

① 正会員 個人 1口 5,000円 1口以上

② 賛助会員 個人 1口 2,000円 1口以上

なお、ご寄付につきましても、同封の「払込票」をご利用頂けます。

【ポパイの会】



(5/18 こんぴら参り 撮影ポパイの会 Kさん)

5/18(日)13:30に琴電琴平駅に集合。保護者の方二名を除く、五名で、八百余段を登り切りました。登り口と上で記念撮影、お参りをし、讃岐富士を観て、下に降りました。途中喫茶店でソフトクリーム、アイスコーヒーを頂きながら1時間くらいおしゃべりしました。16:00頃 集合したのと同じ場所で解散しました。数人は、上まで登る自信が無かった様ですが、何とか、若者五名全員が登る事が出来た事が一番の収穫だったと思います。
(Kさんの日誌より)

【2014/ 6・7・8月居場所活動予定】

内 容	月	日	曜 日	時 間	担 当
2014年度第3回運営委員会	6	1	日	13:30～	川井
個人カウンセリング(松田 勝先生)	6	14	土	9:30～	加藤 W
①ポパイの会	6	1	日	13:30～	秦
②ポパイの会(当日お手伝い可能な人は12:30 会場前に集合してください。)	6	15	日	13:30～	加藤
③ポパイの会(お菓子作り)	7	3	木	13:30～	秦 片桐 W 片桐
④ポパイの会(七夕まつり)高知居場所	7	20	日	11:00 高知集合	加藤
⑤ポパイの会(当事者交流会)香川集合	8	3	日	13:30～	秦
2014年度第4回運営委員会	7	5	土	13:30～	川井
個人カウンセリング(松田 勝先生)	7	12	土	13:30～	加藤 W

②6/15(日) 会場設営のお手伝い可能な人は、会場：香川県社会福祉総合センター 7階第2中会議室 前に12:30 集合してください。

③7/3(木) ポパイの会(お菓子作り)は、 場所：高松市太田上町 228 香川医療生協 は一もに一 ～ 13:30までに集合してください。

・駐車場：有 ・持参するもの：エプロン・タオルなど

以上